

2017

11

～新しい「公」づくり市民の皆様と～ はじめよう！



CONTENTS

事業所の行事より	P 2～P 3
秋祭り／敬老会／内部研修報告他	
現場で働くスタッフの声	P 4
まちの子ども保育園・来ん家の近況	P 4
6月～8月 活動実績	P 5
さが福祉移動サービスネットワークより	P 5
7月～9月 会の動き	P 6
ふるさと納税始めています	P 6
交通安全研修(医大南睦会)	P 7
グループ事業所案内	P 8
ICT サポートセンターより	P 8



消防士さん、ありがとう！(まちの子ども保育園)



**市民生活支援センター
ふくしの家**

市町の生活支援体制整備事業が動きだしました

新しい介護予防・日常生活支給総合事業の基盤整備となる「生活支援体制整備事業」が県内の市町で動きをみせつつあります。

中長期で考えたとき、介護保険の軽度者を地域で支える動きは変わることはありません。その仕組みづくりのために用意されたのが「生活支援体制整備事業」です。介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体の支援づくりに、欠かせないプロセスをこの制度を使って積み上げていくか、いかないかで、その後の住民福祉の広がりが左右されていきます。

県内の市町で、住民説明会や座談会を行う動きも出てきました。限られた財源や地域人材の中で、各々の地域の課題を乗り越えるため、どう支援体制をつくり、地域づくりをしていくかを住民と行政が一体になって考えていく作業です。回を重ねなければなりませんが、この経過の中で地域の課題に当事者意識を持ち、地域に向き合う新しい人材も発掘されていきます。

地域づくりはイベントではなく、とても地味な日々の信頼の積み上げといえます。遠回りでも住民に入つてしていくこの作業がとても大切です。このプロセスがなければ、総合事業の目指す二つの目標である「介護予防の充実」や「担い手の拡充」は困難といえるでしょう。支援体制づくりとしてはこれまでとは真逆の発想が求められることから、市町の出足も様々です。言いかえれば、結果出来上がる支援体制も市町によって時間も違うし、出来てくるものも違つてくることになります。

支え手がない超高齢社会を迎える中で、地域の課題を「自分のこと」として向き合い、子どもから元気な高齢者まで、地域の中で一人ひとりができるることをやる、そうした地域像を共有したいものです。

代表 江口陽介

まちのホーム医大前

まちのホーム医大前の秋祭りを開催。お馴染みのアンサンブル「元気さん」の他に津軽三味線のコニチアの方にも演奏してもらい音楽の秋を感じました。スタッフによる紙芝居は「食べられたやまんば」と、家族の方にも楽しんでもらえたようです。



ケアホームふくしの家・まちのホーム循誘・じゅんゆう寮合同で秋の外出レクレーションにかけました。敬老会は施設でも食事を楽しみましたが、皆さん大好きなショッピングモールに併設のマクドナルドへ。10月中旬には金立 SA のコスモス園まで足を運びました。色々な企画で楽しんでいただくようスタッフ一同がんばります！



ケアホームふくしの家
まちのホーム循誘
じゅんゆう寮



化粧療法というものが開発されています。化粧をすることでADLの維持向上がみられます。また、オシャレは周囲を明るくし自信をもたらします。良いことがいっぱいありますと、可愛いですよ～

内部研修報告

平成 29 年 10 月 12 日 / ふくしの家事務局会議室 / 18:30~19:30

当法人まちのホーム医大前の緒方さんを講師に迎え、ふくしの家内部研修を行いました。

緒方さんは地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症センター」をつくる「認知症センター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」の資格保持者です。今回は内部研修として養成講座を開催していました。

とくに認知症センターにはなにかをとくべつにやってもらうものではありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。そのうえで、自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など活動内容は人それぞれです。また、センターのなかから地域のリーダーとして、まちづくりの担い手が育つことも期待されます。

<http://www.caravanmate.com/>より抜粋

今回の研修に参加した者には「目印」として、ブレスレット（オレンジリング）を頂きました。

この「オレンジリング」が連繋の「印」になるように意識を持とうと思います。



では、もんだい！



子どもたちがこんなにも笑っているのはなぜでしょう？



正解は！ 鉄板芸の二人ばかり
顔面ケーキだらけ！



ゆめくれよん+

10月13日(金)・17日(火)県庁職員対象研修を行いました。午前中の佐賀大学非常勤講師 全学機構学部 医学部の井手将文先生による講座では、透明文字盤の使い方や、オリジナル自助具の工作などを行いました。



午後からは自助具を使ってのパソコン操作、障害者のアイパッドの便利な使い方など参加者の

ボランティア養成講座

方は目からウロコの驚きでした。支援機器の特徴や、様々な事例をお知らせすることで、少しでも多くの方がコミュニケーションをとり続けられるよう支援できればと考えています。

管理者 福田まゆみ



10月23日 脳いきいき健康塾（大和老人健康センター教室）の秋の懇親会を練習後に開催しました。仕出し屋さんの美味しいお弁当を頂き、センターさんの手品に大笑い！3月の修了式まで無理せず、継続しましょうね♪

入社して

チャレンジドクラブ 川崎 央里絵

チャレンジドクラブで責任者をしています。チャレンジドクラブは、金立特別支援学校の敷地内にあり、放課後児童クラブとして活動しています。利用する子どもは、身体的な障害を持つている子どもたちです。食事や排せつ介助が必要な子どもも多く、働き始めた頃は慣れずに失敗することも多かつたです。今は子どもたちの届託のない笑顔が、私の日々の大変さを吹き飛ばしてくれます。

ご父兄からの温かい支援もあり、また明るいスタッフに助けられ、楽しく仕事をすることができます。最近ではデイサービスなどを利用する子どもが多くなりチャレンジドクラブの利用者が減っています。利用者が少なくなったことはとても寂しいですが、今は子ども一人ひとりに十分気配りができる環境があり、より子どもたちを身近に感じながら関わることができます。

これからも、子どもやご父兄とのコミュニケーションを図りながら、スタッフと頑張っていきたいと思っています。

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと
「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていう
と
「遊ばない」っていう。

そうして、あとで
さみしくなって、

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、だれでも。

こだまでしょうか
金子みすゞ



まちの居場所来ん家(紺屋町)にて住民のお一人が畑づくりを自主的に始めています。まだ荒れ地のままなので野菜が育つかは疑問なのですが、来ん家の目標である会食が始まった時に、自家栽培の野菜があれば最高だと思います。

9月から月に1回の買い物サロンも始まりました。9月は吉野ヶ里に新しく出来た「吉野麦米」。



10月は三瀬の直売所「マッちゃん」へ。

皆さん、大変喜んでおられました。子ども世帯と同居されていてもなかなか連れ立って出かける機会は少ないようです。

まずは「まちの居場所」に出てくる。買い物に出かける。

買い物が目的のようですが、立派な介護予防になるのです。



9月の避難訓練は「台所より出火」の設定で消火訓練の手ほどきを受けました。10月は不審者対策として警察の方に不審者が来た時の対応方法を指導して頂きました。山積みな課題の第一歩になりました。

10月の遠足は雨が降り公園へ行けませんでしたが、園内でアスレチックを楽しみ、みんなでお弁当を広げお母さんの手作り弁当を楽しみました。27日には10月生まれの子どもたちの誕生会を行いました。3歳になった子ども達がメインだったので、自分で名前や年齢を言えることが出来ました。秋、満喫です。

管理者 矢川和代



会の実績

訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
介護輸送	1,099	1,011	1,048	680	697	678
身体・生活	145	137	137	95	104	92

ふくしの家 活動 実績 6月～8月

小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
開所日数	30	31	31	30	31	31
実利用人数	22	23	24	29	28	29

住宅型有料老人ホーム

	ケアホーム			実利用人数	ふくしの家			買い物	ささえい(循誘地区)		
	6月	7月	8月		6月	7月	8月		6月	7月	8月
開所日数	30	31	31	22	4	3	4	1	0	2	
実利用人数	22	21	22	24	26	21	21	0	0	0	0

障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん+			
	6月	7月	8月
ボランティア派遣	18	28	3
パソコン教室	11	3	13
ボランティア養成	0	12	0
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	0
ふくしの家パソコン事業	19	29	31

子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	6月	7月	8月
開所日数	22	20	18
児童発達支援	76	58	90
放課後等デイ	9	6	7
開所日数	30	31	31
一般保育	182	142	125
開所日数	22	20	18
小規模保育	128	110	123

特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	6月	7月	8月	6月	7月	8月
開所日数	25	23	23	25	22	22
利用人数	92	75	80	197	155	166

来ん家(循誘地区)

ふくしの家		
	6月	7月
開所日数	4	4
実利用人数	28	30

9月30日 さわやか福祉財団の堀田会長がまちのホーム医大前を見学されました。その後大川市の「みんなで支え合うまちづくりフォーラムinおおかわ Vol.2」に参加し、「お互いに支え合う共生のまちづくり」をテーマに基調講演をされました。会場は約250名の参加者であふれ、各地区から居場所の開設や移動販売等、実際の活動に直結できる具体的な発表が行われました。



この勉強会からは第2層協議体メンバーに名乗りを上げている方もおり、生活支援体制の整備とともに、助け合い活動も並行して進んでいくことが期待されています。





- 1～2日 さわやか九州I会議
 4日 さわやか県レベル担当者会議／東京
 7日 循誘まちづくり協議会福祉部会
 13日 ふくしの家事務局会議
 14日 処遇改善加算説明会 佐賀県SC連絡会／大和支所
 18日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会
 19日 大川市田口ヨセイ
 20日 地域支え合い研修会講師／白石町
 21日 けやき荘で講話
 22日 循誘夏祭り 住民主体の移動サービスの講話／竹田市
 25～26日 シルバー福祉有償運送講習会／佐賀市
 25日 まちのホーム循誘会議
 28日 地域包括ケア推進アドバイザー／江北町
 循誘ささえあい会議
 29日 第3回九州地区移動支援ネットワーク交流会／熊本県青年会館



- 1日 県長寿社会課・大分大学椋野教授と移動支援の情報交換／県庁
 2日 佐賀県長寿社会振興財団より来所
 4日 佐賀県認知症介護指導者会議／県庁
 5日 まちのホーム医大前会議
 8日 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会
 循誘まちづくり協議会福祉部会
 9日 大川市田口ヨセイ
 10日 福岡県生活支援コーディネーター勉強会／福津市
 11日 総合事業講話／武雄市
 16日 ふくしの家事務局会議
 18日 認知症介護実践者研修講師／シオンの園
 20日 大川市田口ヨセイ
 21日 佐賀中部地区福祉有償運送運営協議会
 地域包括ケア推進アドバイザー／神埼市
 大川三俣ヨセイ
 23日 佐地共連資質向上研修／アバンセ
 24日 福岡市移動支援モデル事業研修委員会／ふくふくプラザ
 背振町第1回語ろう会講話
 26～27日 地域ささえあいヘルパー養成講座／メートプラザ・ほほえみ館
 28日 未来創造基金訪問講話
 ふくしの家理事会
 29日 地域包括ケア推進アドバイザー／江北町
 30日 移動サービス講話／福岡県吉富町
 まちのホーム循誘会議
 31日 佐賀県SC研修会
 ふくしの家ホームヘルプ会議



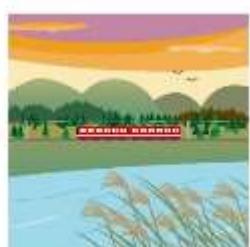
- 1日 移動・外出を多様な生活支援サービスで推進するセミナーin福岡
 5日 第1回佐賀県地域包括ケア推進会議／県庁
 7日 佐地共連佐賀ブロック会議／なごむの里
 8日 総合事業の講話／東与賀
 まちのホーム医大前会議
 12日 シルバー福祉有償運送講習／唐津市
 循誘まちづくり協議会福祉部会
 13日 シルバー福祉有償運送講習／唐津市
 14日 ふくしの家事務局会議
 16日 移動サービス認定運転者講習開催
 21日 来ん家買物サロン サポーティア事業研修講師／アバンセ
 22日 北波多地域共生交流イベント／北波多市民センター
 23日 医大南睦会居場所づくり勉強会
 26日 佐賀市生活支援コーディネーター連絡会／ほほえみ館
 まちのホーム医大前運営推進会議
 27日 中原たすけあいの会 サポーティア事業研修講師／鹿島市
 まちのホーム循誘会議
 28日 ふくしの家ホームヘルプ会議
 29日 佐賀県認知症介護指導者会議
 30日 さわやか福祉財団堀田会長来所
 みんなで支え合うまちづくりフォーラム／大川市



あなたの意志をふるさとに ふるさとチョイス

<https://www.furusato-tax.jp>

TOP → 地域でチョイス → 佐賀県の自治体 → NPO支援 → ふくしの家
 こちらでの応援も受け付けております。よろしくお願い致します。





9月26日 ふくしの家会議室にて医大南睦会の方々の交通安全研修会が実施されました。県警の交通課より歩行環境シミュレータ「わたりジョーズ君」を設置して頂き、スクリーンを通じて実際に道路横断などの歩行環境を疑似体験してもらいました。車にぶつかった時の悲鳴や上手に渡れた時の拍手、講話も熱心に聞かれ楽しく参加されていました。高齢化による運動能力の低下を少しでも抑えるために、日々のちょっとした運動や歩行を心がけたいものです。研修が今後の事故防止につながることを願います。



“アニン”とは

介護、看護、医療、リハビリなど、
人の「ケア」に関わり、自らの仕事に
誇りと愛情、情熱を持って働いてい
る全ての人

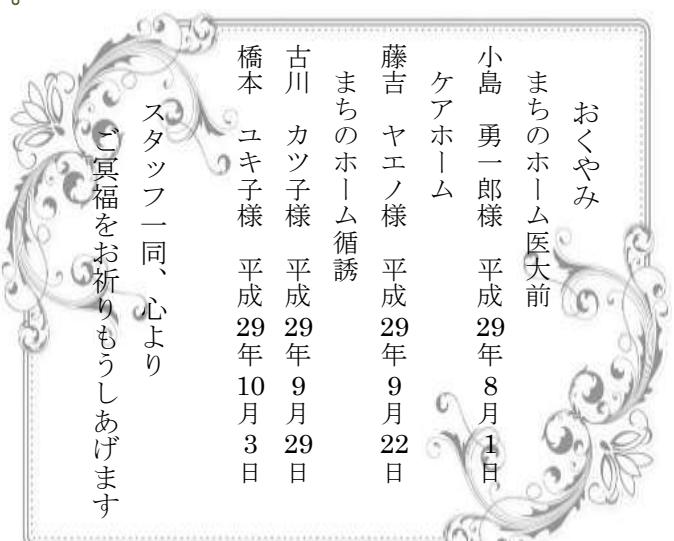
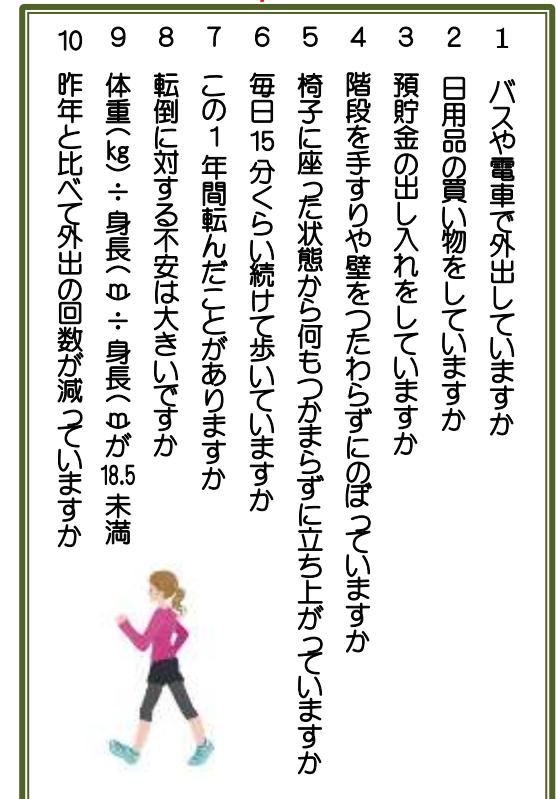
佐賀県地域共生ステーション連絡会の資質アップ研修の一環で映画の上映を予定しています。先ずは、佐地共連の会員のみで鑑賞し、その後各ブロック毎に開催場所を広げ、たくさんの方々にご覧いただきたいと思います。

1月18日(木) 19:00～
アバンセ 第3研修室
定員 90名

日本の森のバトンは「使う」時代へとわたりました。

日本の森林資源は年々増え続けています。戦後に植栽された人工林の多くが十分に成長し、「使いどき」となってきて、今後は積極的に「国産材を使う」ことが求められています。成長した木はタイミング良く伐り、利用し、新たに苗木を植える。

そうすることで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれるのです。



事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市東佐賀16番2号／電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぶりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】
佐賀市大財6丁目4番4-66号／電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】現在休止中
佐賀市光一丁目9番17号／電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー1F／電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局／佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局
脳いきいき健康塾【佐賀市一次予防事業】
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F／電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」／電話090-9566-6768【佐賀県委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」／電話090-7475-8989【佐賀県委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】／総合福祉ビルハーモニー窓口
佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー4F／電話0952-36-6113
- まちの居場所来ん家
佐賀市紺屋町1番14号／電話0952-36-6865



パソコンを活用してイキイキライフ！！

佐賀県障害者ICTサポートセンターでは、ITの楽しい活用をご紹介しています。
今回は日常生活に利用できる作品「卓上カレンダー(三角形)」です。



ボランティア募集中！

障がいのある方のパソコンサポート
してみませんか♪

佐賀県障害者ICTサポートセンターゆめくれよん+ ☎ 0952-36-6977

はじめよう！11月号

【編集／印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島3丁目3-20 鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F

TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895

E-mail fukushinoie@world.ocn.ne.jp



ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

皆さん、アクセスしてくださいね！